

標 題 : Nutritional Factors in Colorectal Cancer Risk: Case-Control Study in Majorca

結直腸癌のリスクにおける栄養的な要因 : マジヨルカ島における症例 - 対照研究

著 者 : E. Benito, et al. (スペイン、オランダ、フランス)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 49: 161-167 (1991)

要 旨 : エネルギー摂取量、栄養素と結直腸癌との間の関連を、地中海沿岸地方スペインのマジヨルカ島住民で調査した。

住民に基づく症例 - 対照研究を 1984 - 1988 年に結直腸癌の症例 286 名、住民対照 295 名、病院対照 203 名で食品頻度質問表を用いて実施した。

食品組成表および 1 回分サイズの見積りを用いて栄養素 29 種類と総カロリー摂取量を算定した。

相対リスクは、総カロリー摂取量補正後に各特定栄養素の摂取量 (4 段階) について計算した。

結直腸癌は食事摂取量のうち、総カロリー (RR=1.0, 1.6, 1.6, 2.6) およびコレステロール (RR=1.0, 0.9, 1.7, 1.7) と関連がみられ、予防効果は豆類由来繊維および葉酸の摂取と関連した。関連および傾向は統計的に有意であった。

エネルギーを供給する主な栄養素のうちで、他栄養素によるか摂取を補正後にリスク上昇がタンパク質でみられ (RR=1.0, 1.1, 1.7, 2.5) 動物性タンパク質で特に高く、炭水化物でもみられた (RR=1.0, 1.5, 1.4, 2.2) 。

しかし、脂質および飽和脂肪の摂取量増加とは関連がなかった。
